

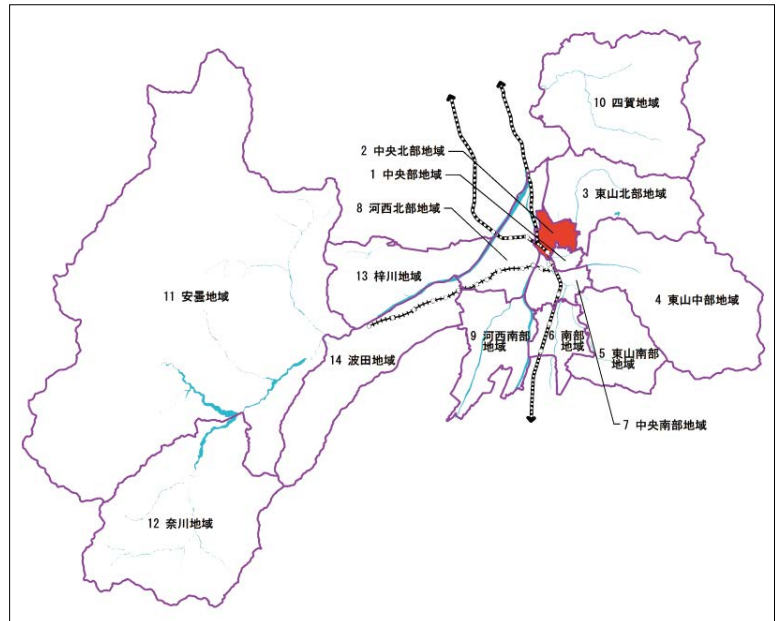
2 中央北部地域（白板地区・城北地区・安原地区・城東地区）

（1）地域の概況

中央北部地域は、中央部地域の商業業務地に連担し、城山丘陵とその裾に広がる丘陵地の住宅地によって構成されています。城山公園からアルプス公園を含む丘陵地や、女鳥羽川、大門沢川などの河川は、自然とふれあうことのできる憩いの場となっています。

また、高度な医療施設として信州大学医学部附属病院が立地するほか、信州大学の本部を置く松本キャンパスを始め、複数の高校など多くの学校が存在し、国宝旧開智学校、松本神社などから続く、歴史的建造物や神社仏閣を含めた風情ある街並みと相まって、文教的・歴史的な地区ともなっています。

地域内には木造の密集住宅地が存在し、地震時における火災の延焼や道路閉塞などが危惧されています。また、空き家の利活用の更なる促進などが課題となっています。



（2）地域別構想

① 将来像

「豊かな自然や歴史文化と調和したうらおいのある文教のまち」

- 2つの国宝「松本城」「旧開智学校」から続く文教的・歴史的雰囲気と調和する緑豊かな住宅地
- アルプス公園や城山公園を活かした緑の公園のまち

② まちづくりの方針

アルプス公園を中心とする自然交流ゾーンの整備を図るとともに、アルプス公園や城山公園の緑、国宝旧開智学校の文化的雰囲気と調和する文教住宅地の保全・整備を図ります。

信州大学の学術・医療機関としての機能の維持・充実を図るとともに、周辺地域において生活に必要な施設の立地の維持、誘導を図るなど、歩いて暮らしやすい環境を整えます。

③ 拠点形成と土地利用

本地域の拠点及び土地利用区分を次のように定めます。

<p>拠点形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域拠点（信州大学周辺） ● 生活拠点（桐） ● コミュニティ拠点（白板地区、城北地区、安原地区、城東地区の地域づくりセンター周辺） ● 医療拠点（信州大学医学部附属病院） ● 産業・研究拠点（信州大学） ● 自然交流拠点（アルプス公園） 		
<p>土地利用</p>	<p>都市的開発整備ゾーン</p>	<p>商業業務系</p>	<p>都市型複合業務地区（女鳥羽川北側の北松本駅を含む地区）、複合業務地区（信州大学周辺の都市機能誘導区域、国道19号沿道の市街地）、学術・医療地区（信州大学）</p>
		<p>産業系</p>	<p>—</p>
		<p>住宅系</p>	<p>都市型住宅地区（中環状線の内側の住宅地）、低層住宅地区（中環状線の外側の住宅地）</p>
	<p>農業環境保全ゾーン</p>	<p>田園集落地区（丘陵地の裾に広がる農地）</p>	
	<p>自然環境保全ゾーン</p>	<p>森林・丘陵緑地（アルプス公園を擁する丘陵地）</p>	



信州大学周辺（地域拠点）



国宝旧開智学校

④ 整備方針

【施設整備】

○アルプス公園の活用と歴史・文化・観光拠点までを相互に結ぶ利用空間の形成

- アルプス公園の施設整備による景観や緑を活かした魅力ある空間の創出と、その周辺の芥子坊主山市民の森の自然交流拠点と一体的な利用を図ります。
- アルプス公園～城山公園～旧開智学校を相互に結ぶ散策路等の利用空間の形成を図ります。



アルプス公園

○幹線道路網の形成

- 中心市街地における通過交通の分散に資する幹線道路等の優先的な整備を進めます。

○歩行者、自転車の安全の確保

- 市民や観光客の歩行者・自転車利用の安全を確保するために、幹線道路及び生活道路における歩道や自転車通行空間の整備を進めます。

○市街地における防災・避難空間の充実等

- 災害発生時の市街地における防災・避難空間の充実等に向けて、都市計画道路の整備、狭あい道路の拡幅を推進します。

【公共交通】

○幹線バス路線等の利便性の維持、充実

- 地域拠点・生活拠点と中心市街地間の移動や地域内移動を支えるバス路線の利便性の維持、充実に向けた、路線・本数・時間の見直しを図ります。

○自転車を利用しやすい交通環境の形成

- 中心市街地と郊外部を繋ぐ^{つな}自転車通行空間の整備を進めます。

【環境保全形成】

○文教住宅地にふさわしい景観の形成

- 城山公園を含む丘陵地に広がる閑静な住宅地、信州大学を始めとした多くの教育機関が立地する住宅地であることを踏まえた、文教住宅地にふさわしい景観の形成を図ります。

○城山の丘陵地景観の保全

- 市街地からの良好な自然景観を構成する城山の丘陵地の景観を保全するため、城山風致地区における自然景観、眺望景観の保全を図ります。

○歴史的・伝統的街並み景観の整備・保全

- 松本城を始め、城下町の歴史的な街並みや街路、旧開智学校など、全体として歴史的町割りを色濃く残す景観要素から構成されている地区を中心に、伝統的な街並み景観の整備保全を図ります。

○水辺空間の安全の確保、景観の形成

- 奈良井川・女鳥羽川の河川改修により、水辺環境を活かした景観形成を図ります。

●中央北部地域 整備方針図



凡例

土地利用区分

- | | |
|-------------|-----------|
| ● 中心商業業務地区 | ● 都市型住宅地区 |
| ● 都市型複合業務地区 | ● 低層住宅地区 |
| ● 複合業務地区 | ● 田園集落地区 |
| ● 地域商業地区 | ● 山間集落地区 |
| ● 学術・医療地区 | ● 森林・丘陵緑地 |
| ● 健康・スポーツ地区 | ● 公園緑地 |
| ● 工業地区 | ● 河川 |
| ● 流通業務地区 | ● 交通施設用地 |
| ● 複合産業地区 | |

道路種別

- 高速道路
- 高規格道路
- 主要幹線道路
- 幹線道路

公共交通

- 鉄道 (JR)
- 鉄道 (その他)
- バス (主要幹線、幹線)